

会社の健康、社員から。社員の健康、暮らしから。

仕事と生活の バランス

vol.54
Autumn

公益財団法人兵庫県勤労福祉協会
ひょうご仕事と生活センター



| CONTENTS |

特集 | 認定企業への道のり

5 | 助成金ナビ／ワーク・ライフ・バランス関連書籍紹介

6 | わが社のWLBな人 8 | information

認定企業への道のり

ひょうご仕事と生活センター（以下、センター）では「仕事と生活の調和」実現に取り組み、成果を上げている企業・団体を「認定企業」として認定しています。

認定企業になると

- センターのホームページ等で企業名や取組が広く周知され、イメージアップにつながります
- ハローワークの求人票や求人広告等で PR できるため、人材確保の効果が期待できます
- 県と連携協定を結んでいる金融機関等で、優遇金利による融資など金融面での支援が受けられます



認定証を交付します



ひょうご仕事と生活の調和推進
認定企業

認定企業ロゴマークが使えます
(名刺などに印刷しアピールできます)



認定企業グッズを進呈
(就職説明会などでは注目されます)



センターの
認定企業情報は多くの
求職者がチェック
しています！

認定までの流れ

認定に向けての企業・団体の取組については、さまざまな支援メニューがありますので、①～⑥のステップに沿って取組を進めてください。

- ① 宣言企業としてセンターに登録
- ② コーディネーターによるサポート支援
- ③ ワーク・ライフ・バランス（以下、WLB）自己診断を実施
- ④ 認定申請に必要な書類を提出（年2回募集）
- ⑤ センターのコンサルタントが訪問し、WLB 取組状況をヒアリング
- ⑥ 認定審査委員会で審査
- ⑦ 認定企業に決定、認定証交付

ワーク・ライフ・バランスの取組に関するアンケート調査結果

センターでは、「宣言企業」と「認定・表彰企業」を対象に、WLBの取組効果についてアンケート調査を実施しました。

調査の概要

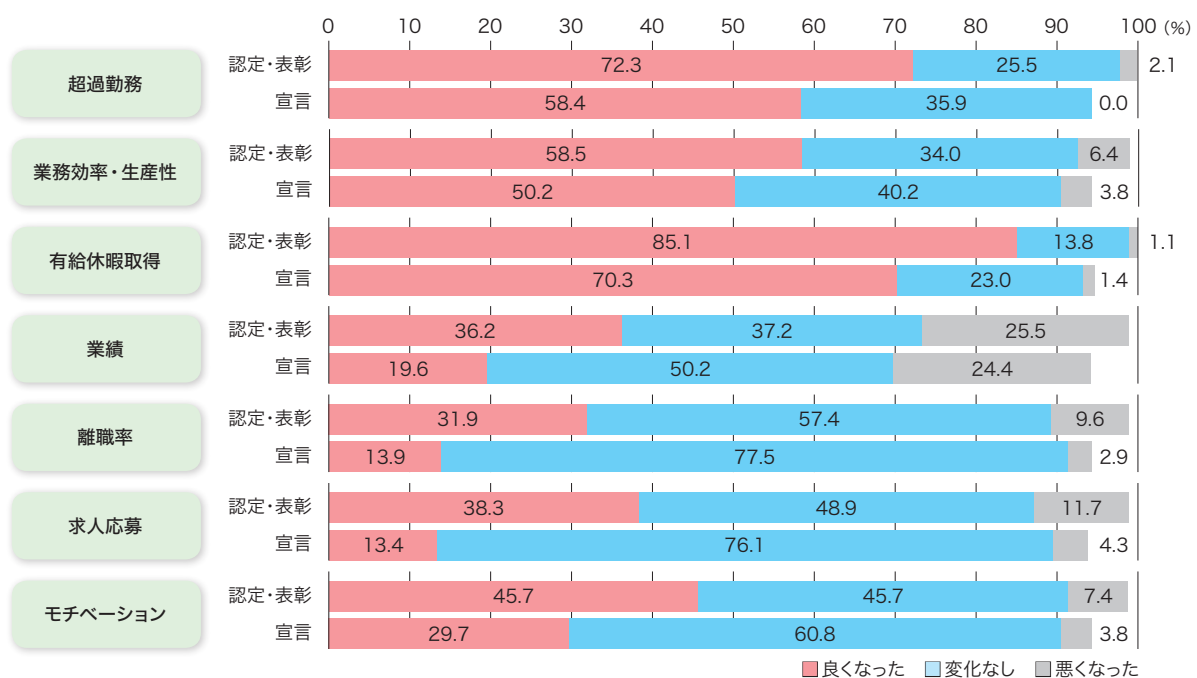
調査対象 メールアドレスを把握している「宣言企業」と「認定・表彰企業」
調査方法 メールで「アンケート調査票」を送付、メールで回答
調査期間 2021年7月
有効回答数 宣言企業209社（対象者数1,708社、回答率12.2%）
 認定・表彰企業94社（対象者数293社、回答率32.1%）
 ※メールアドレスを把握している企業に送付、エラーで届かなかった分を含む

調査結果

WLB取組前と現在（コロナ禍）の変化

いずれの項目も、「認定・表彰企業」の方が「宣言企業」よりも「良くなった」との回答が多い。特に多いのは「有給休暇取得」、次いで「超過勤務」「業務効率・生産性」となっている。「業績」については、コロナの影響を受けて「宣言企業」「認定・表彰企業」とも4分の1以上が「悪くなった」と回答している。

WLB取組前と現在の変化



業務効率が上がり休みやすくなった。
従業員の定着率も向上した

合同面接会で認定グッズ（ペンギンのぬいぐるみ）を置いていたところ、
他のブースより面接希望者が多く集まり、良い人材を採用できた

認定企業になったことで、従業員の
モチベーションがアップした

認定企業の声

認定企業ロゴマーク付きで求人誌に広告を
出したところ、今までより多くの申し込みがあった

今回の調査では、「業績」をはじめ「離職率」「求人応募」「モチベーション」などにおいて、「認定・表彰企業」の方が「宣言企業」と比べ「良くなった」との回答が多く、WLBの実践が経営戦略としても重要であることが分かった。今後は、企業の実態や課題に応じたきめ細かなWLB取組の支援を行っていきますので、あなたの会社もぜひ「認定企業」を目指してください。

従業員から業務改善案を募り生産性向上につなげる

米谷紙管製造株式会社（たつの市）

【従業員数：49人（正社員39人）】

代表取締役社長 米谷 啓和さん



1915年に創業し、テープの巻き芯から建設工事で使う柱の型枠まで、多様な紙管を手掛けてきました。私が入社した約30年前は連日の残業が当たり前でしたが、時代とともに若い世代は残業を嫌がるようになり、15年ほど前から残業削減のための取組を始めました。その一つが、従業員からの業務改善案の募集です。作業方法の見直しから作業しやすい器具の発案まで作業効率改善につながる多様なアイデアが毎年数十通集まり、良いものは現場に反映、提案者全員に商品券を贈っています。

また、数年前から商品を配送する物流部門の残業削減にも力を入れています。遠くは山口県にまで納品先があるため、なかなか定時に退社できず、多い時は1人当たり月100時間の残業が発生していました。そこで人員を増やし配送ルートも再検討したところ、現在は月40時間程度に減っています。

有給休暇の取得推進にも力を入れています。2年前か

ら一斉有給休暇を年5日設け、半日休の取得も推奨した結果、現在の年間有給取得日数は平均16日です。

労働時間が減った分、従業員には生産性を考えて働いてほしいと考えており、毎週月曜の朝礼で当月の生産高と売り上げの途中経過や結果を発表しています。また、休暇を取ったらその分誰かがカバーしていることを忘れないように伝えるなど、一人一人の意識改革にも力を入れています。今後も従業員との対話を大切にしていきたいと思っています。



製品には規格サイズがなく、一品ずつオーダーメイドで製造。手前の機械は従業員の声で改良されました。

ICT化で作業量を減らし限られた人員で現場を回す

社会福祉法人 三翠会（三田市）

【従業員数：241人（正社員124人）】

理事・統括施設長 前川 嘉彦さん



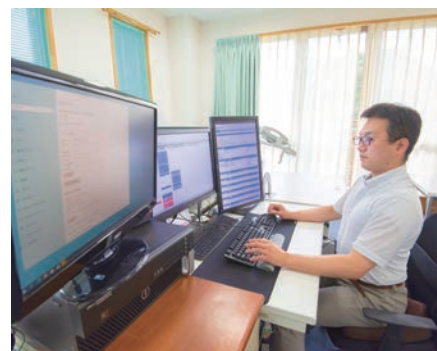
1988年に特別養護老人ホームを設立したのを皮切りに、保育園、ケアハウスなどに事業を広げ、現在は11の事業所を運営しています。

3年前、働き方改革関連法で仕事のやり方を見直す必要に迫られました。手書きの書類やタイムカードでの勤怠管理による事務作業に追われ、ICT化の必要を感じていたところ、ちょうどパソコン関係の業務を委託していた企業の担当システムエンジニアが退職すると聞き、うちの職員として入職してもらいました。

まず取り組んだのは、ICカードを使った勤怠管理システムへの変更で、データの自動集計はもちろん、複数ある建物の建物にも出退勤の記録ができるようになりました。続いて、各部門にタブレット端末を導入。介護部門では利用者のケアをしながらのデータ入力と管理、保育園ではアプリを活用した保護者との連絡などに利用しています。工作中どこでも作業ができるので好評です。

さらに、無償版のグループウェアを用いて全事業所で情報共有ができるようにするなど、限られた予算で工夫しています。会議もオンライン化し、事業所間を移動する必要がなくなりました。360度カメラを使って大人数でも滞りなく進行できています。

業界的に慢性的な人手不足ですが、ICT化により作業量が減り、限られた人員で何とか現場を回しています。今後はさらにICT化を進めていく予定です。



オンラインによる職員研修をはじめ次々とICT化を進めるシステムエンジニアの山下光顕さん。

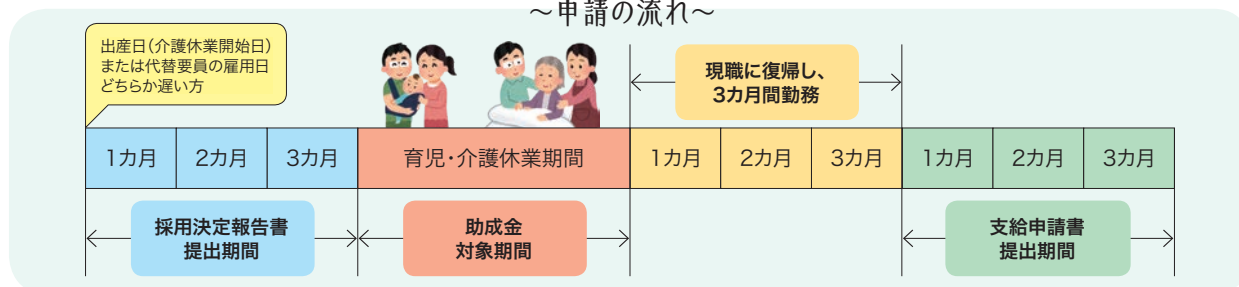
代替要員助成金 (休業コース)

育児休業(介護休業)を取得する従業員の代わりとなる従業員を新たに雇用し、下記に当てはまる場合は、助成金の対象になるかもしれません。詳しくは、ひょうご仕事と生活センターのホームページをご確認ください!



事業主	育児・介護休業取得者	代替要員
● 兵庫県内の事業所である。 ● 企業全体で常時雇用する労働者数が300人以下である。 〔申請に係る事業所の規模〕 ● 会社等(株式会社、合同会社等)は常時雇用する労働者が100人以下である。 ● 上記以外(医療法人等や個人事業主)は常時雇用する労働者数が20人以下である。	● 雇用保険の被保険者として雇用されており、社会保険の加入条件を満たしている場合は、原則として社会保険に加入している。 ● 育児・介護休業を取得するまでに同一企業に引き続き1年以上雇用されている。 ● 育児休業を3カ月(介護休業を1カ月)以上取得する予定である。 ● 育児・介護休業の終了時には、現職等に復帰する予定である。	● 新たに雇用された者である(派遣社員含む)。 ● 休業取得者と同一の事業所および部署で勤務し、休業取得者の職務を代行している(休業取得者が有している業務上必要な資格と同等の資格を有している)。 ● 1週間の所定労働時間が週30時間以上である。

～申請の流れ～



ワーク・ライフ・バランス 関連書籍紹介

あなたは一体、毎日どのくらい自分のために時間を使っていますか？
時間の使い方は自分の「人生の選び方」なのです。
「自分の時間」を取り戻し、満足のいく生き方を選んでみてください。
あなたの時間を選べるのはあなたしかいないのです(「はじめに」より抜粋)。



「やめる時間術ー24時間を自由に使えないすべての人へ」 (2021年1月発行)

「やるべきこと」が多すぎて、「やりたいこと」に時間を取れない…。本書では、外資系メーカーに勤務していた普通の会社員であった著者が、長時間労働が当たり前の中、仕事と育児を両立しつつ、何度も何度も「時間がない」ことに悩んで試行錯誤した末に編み出した、いわば「やめる時間術」を紹介しています。

時間の使い方を「見える化」し現状を把握したうえで、自分の価値観に基づいて優先度の低いものにかかる時間をやめる「時間の引き算」が重要だと指摘するとともに、豊かな自分時間を作るための「時間の足し算」についてもじっくり解説されています。

「ワーク・ライフ・バランス」を考えるうえで、特に自分の時間を取り戻したい方にとって、必読の一冊です。

著者：尾石 晴(ワーママはる) 発行：実業之日本社

わが社のWLBな人

WORK LIFE BALANCE



ワーク・ライフ・バランスを推進する7人の社員

ペンギン	子育て	夫婦共働きで協力しながら子育て。明るいキャラでムードメーカー。
さる	介護	親の介護を行いながら職務に励む。チームがうまく回るように気配り。
くま	在宅勤務	テレワークを利用して在宅勤務。やさしい性格でチームの母親的存在。
ライオン	キーパーソン	WLB担当。皆からの信頼も厚いリーダー的存在。
みつばち	女性活躍	毎日、元気に飛び回る。女性社員のリーダーで初の女性役員候補。
ぞう	再雇用	再雇用制度を利用するベテラン。若手社員への技能継承に力を入れる。
カエル	フレックスタイム	フレックスタイムを利用。地元の合唱団に参加し地域活動にも貢献。

※投稿日順に掲載しています



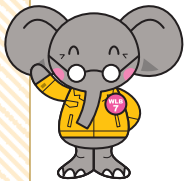
【2016年度認定企業】

キンキテレコム株式会社(姫路市)

芝元さん

入社後、携帯電話の販売店に配属されスタッフから店長までステップアップした後、結婚・出産を経て育休明けは総務部へ。現在は、各販売店へ出向いて女性社員の意見を聞いて回ったり、“ママ社員”同士の交流の場や女性社員の研修を企画したりするなど、女性が働きやすい職場づくりに力を尽くしています。「これまでの経験を生かしながら、多様な視点で皆が働きやすい職場づくりを考えています」。女性活躍推進の中心的な存在として、積極的な取組は続きます。

〈2021年1月〉



【2014年度認定企業】

株式会社ラフト(神戸市)

吹田さん

転職して約17年。71歳を迎えた現在も特別養護老人ホームの厨房責任者として朝夕に50食、昼に100食、利用者さんの体調に合わせたおいしい食事を作っています。20～30kgもある鍋を軽々と持ち上げたり、急なオーダー変更にも素早く対応できたりすることから、職場でとても頼りにされているそうです。「週2回はウォーキングをして体力維持に努めています。仕事があると生活に張りが出ます。孫に小遣いもあげたいし、75歳まで働き続けたいです」と目標を掲げます。

〈2021年2月〉



【2016年度認定企業】

西川産業株式会社(大阪市)

井上さん、遠藤さん、松山さん

管理部で活躍する3人の女性を紹介します。まずは、ダイバーシティの推進役を務める井上さん。育休の経験者として、リーダーシップを発揮します。2人目は遠藤さん。社の方針が年功評価から成果主義へと変わったことで、よりやりがいを感じるようになったそうです。松山さんは、営業所から本社勤務に異動し、多様な経験を積みながらキャリアアップにまい進中。社内ではそれぞれの今後の活躍が注目されています。

〈2021年3月〉



ひょうご仕事と生活センターでは、オリジナルキャラクター「WLB7」のテーマに沿ってワーク・ライフ・バランスを進める方々をFacebookで取り上げています。今回は、今年1月～7月に掲載した7人を紹介します。

最新情報は
こちらから



【2019年度認定企業】

社会保険労務士法人 オフィスねこの手(加古川市)

田中さん

社内のWLB推進役を担い、産休・育休のスタッフが復帰しやすい雰囲気づくりのため「ベビーシャワー」を企画するなど、きめ細やかなサポートを行っています。また、同法人では毎月最終金曜日の12時から15時まで、社員同士の親睦を深めるための多彩なレクリエーションを実施しており、その運営も担当。「職場は人生の中で長い時間を過ごす場所なので、皆が安心して働ける環境にしていきたいです」と一人一人に寄り添ったWLBの推進に取り組んでいます。

(2021年4月)



【2019年度表彰企業】

伊福精密株式会社(神戸市)

山本さん

結婚14年目で待望の子どもを授かりました。「妊活中、上司や同僚は急な休みの申し出にも理解を示してくれたのでありがたかった」と振り返ります。男性社員では育休取得第1号。当初は2カ月ほど休む予定が、会社から6カ月休むことを勧められ、子育てに専念することができたそうです。「子育ては苦労が多いですが、人生に目標ができ、仕事にも張り合いが出ます。育休はできる限り取った方がいいと思いますよ」。会社への感謝を胸に、仕事と子育てに励みます。

(2021年5月)



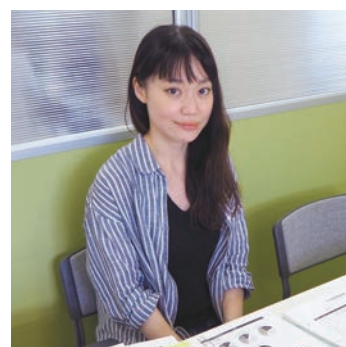
【2019年度認定企業】

株式会社アシダコーポレーション(丹波市)

青木さん

職場全体で整理・整頓、清掃などを徹底することでさまざまな無駄をなくすとともに、コスト意識を持ち、仕事の質やチーム力、生産性の向上につなげる「5S活動」。入社5年目で、現在この取組の推進役を任されています。毎回、活動後はチームごとに報告書をまとめてもらい、全員に回覧することで互いに意識を高め合えるようにしているとのこと。あえて目標値を設定していないことが、無理なく継続できている秘訣だそうです。

(2021年6月)



【2020年度認定企業】

福崎電業株式会社(福崎町)

芳川さん

工業高校在学中に電気工事士2種と1種、さらには卒業後すぐに高所作業車の操作資格も取得し、社内で初となる女性現場作業員として入社しました。現在は2年目を迎え、高速道路での工事や施設設備のメンテナンス業務など、男性のイメージが強い仕事も見事にこなしています。「最近、電気工事業界でも女性作業員の姿が増えてきました。女性が入ると職場の空気がやわらかくなるという声もいただくので、これからも頑張ります」とさらなる成長を目指します。

(2021年7月)



ワーク・ライフ・バランス 地域シンポジウム

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、予定が変更となる場合があります

	阪神地域	神戸地域	姫路地域
内 容	アフターコロナはどのような労働環境が待っているのでしょうか？ポストコロナ時代のワーク・ライフ・バランスを一緒に考えます。 ●講演 ●トークセッション	コロナ禍で急速に進化したテレワーク。アフターコロナの新しい働き方はどう変わっていくのか、参加者と一緒に考えます。 ●講演 ●事例発表	ポストコロナ時代の「ものづくり」企業の活性化に向け、ICT活用等について先進事例を通じて一緒に考えます。 ●講演 ●パネルディスカッション
日 時	10月15日(金)14:00～16:00	10月26日(火)14:00～16:00	11月9日(火)13:30～16:30
会 場	東リ いたみホール(伊丹市立文化会館)中ホール	オンライン(Zoom)開催	姫路キャッスルグランヴィリオホテル
講 演	「ポストコロナ時代のワーク・ライフ・バランス～エースの連投が職場を破壊する～」	「アフターコロナの新しい働き方～在宅勤務からワーケーションまで～」	「ものづくり企業におけるデジタルトランスフォーメーション」
講 師	瀬地山 角 氏 (東京大学大学院総合文化研究科教授)	松下 慶太 氏 (関西大学社会学部教授)	南 知恵子 氏 (神戸大学経営学部長)
問い合わせ	兵庫県阪神北県民局 地域振興課 ☎0797-83-3158	兵庫県神戸県民センター 県民・産業振興課 ☎078-647-9085	兵庫県中播磨県民センター 産業観光課 ☎079-281-9260

今年は YouTube 動画配信によるオンライン開催

ひょうご仕事と生活センター ワーク・ライフ・バランス フェスタ

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため YouTube によるオンラインでの動画配信で行います(会場への来場は関係者に限らせていただきます)

プログラム

①表彰式・修了式

- ・2021 年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰式
- ・2021 年度 ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズ表彰式
- ・2021 年度 キーパーソン養成講座修了式

②特別講演

「幸せな職場の経営～社員の幸せと生産性向上に向けて」

講師：前野 隆司氏(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授)

【配信期間】12月6日(月)～13日(月)

【視聴方法】オンライン動画(YouTube)で視聴

※申し込みのあったメールアドレスに視聴用動画 URL を送付します

【申込期間】10月1日(金)～11月30日(火)

申込方法の詳細は、ひょうご仕事と生活センターのホームページをご覧ください。



公益財団法人 兵庫県勤労福祉協会

ひょうご仕事と生活センター

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター1階

TEL 078-381-5277 FAX 078-381-5288 E-mail info@hyogo-wlb.jp

開館 月～金曜 9:00～17:00(祝休日、年末・年始を除く)

阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通2-6-68

尼崎市中小企業センタービル6階

TEL 06-6481-1888

姫路事務所

〒670-0947 姫路市北条1-9-8

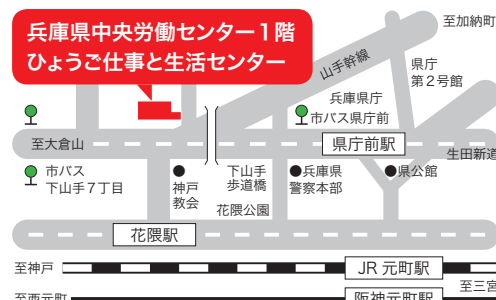
兵庫県立姫路労働会館1階

TEL 079-288-2603

携帯、
タブレットから
アクセス
できます。



兵庫県中央労働センター1階 ひょうご仕事と生活センター



- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅西出口③から西へ徒歩7分
- 神戸高速鉄道「花隈」駅東口から北へ徒歩9分
- JR「元町」駅西口から北西へ徒歩12分
- 阪神電鉄「元町」駅西口から北西へ徒歩14分

<https://www.hyogo-wlb.jp/>

ひょうご仕事と生活センター

検索